産業のDX

生産性の向上と人手不足に対応するため、スマート農業※1を推進しました。

【スマート農業の推進】

農業の持続的な発展を目指し、より多くの農業者がスマート農業に取り組めるよう、普及・定着を推進しています。
作業省力化や自動化等に資するロボット・ICTを活用した機械の導入を支援し、農作業の省力化に繋げました。



農薬散布用ドローン



直線アシスト田植機

[スマート農業に取り組んでいる認定農業者等※2の割合]

33%［令和２年度］ ▶ +20ポイント ▶ 53%［令和７年度］

※1　スマート農業
AI、IoT、ロボットなどの先端技術を活用し、
農作業の省力化や効率化、生産性の向上を図る農業

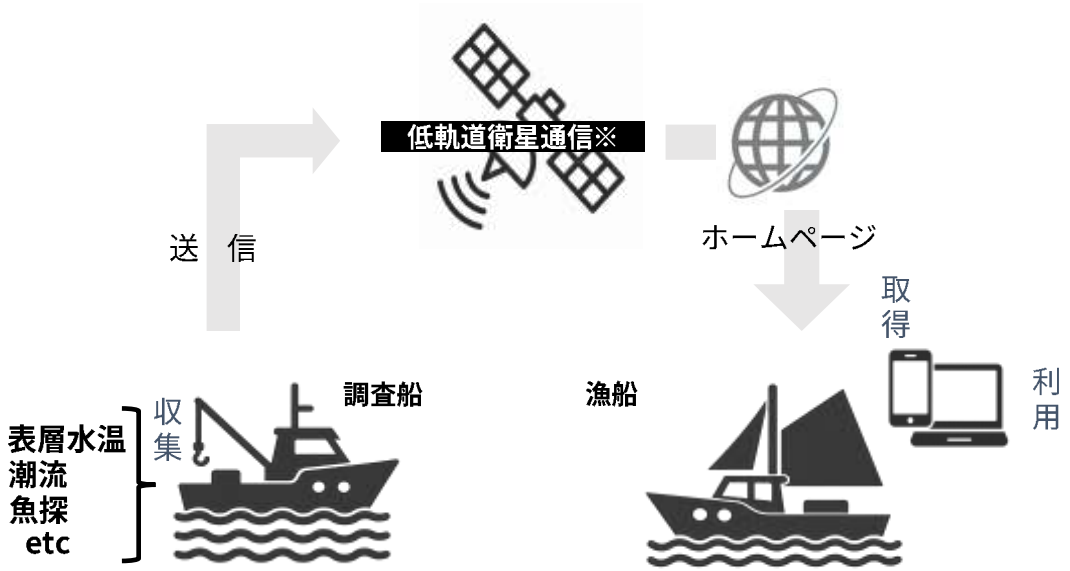
※2　認定農業者等
農業経営の改善や新たな就農に向けた計画について、
市町村等から認定を受けた農業者

▶農産産地支援事業(スマート農業推進型)、「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業(スマート農業推進型)

産業のDX

海上でも利用可能なデータ通信サービスにより、
沖合での魚群探索が可能となり、漁業者の生産性向上を図りました。

【タイムリーな情報配信のしくみ】

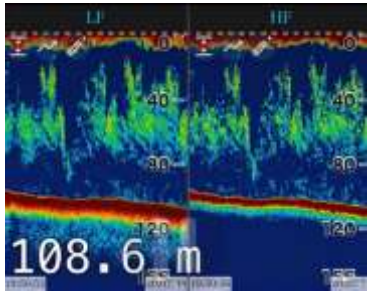


※衛星を活用した通信サービスのため、沖合でもデータ通信が可能となります。

調査船の魚群データ等をタイムリーに共有することで、漁業者は効率的に漁場を判断できるようになりました。また、漁獲が見込めない場合には航海を見合わせる判断も可能となりました。

[魚群データ等]
R８年１月より魚群データの配信を開始。







▶スマート水産業推進事業（漁船漁業操業支援スマート化事業）